

講義科目名称： がん看護学特別演習 I

授業コード： 6630600400

英文科目名称： Seminar of Cancer Nursing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、岡村典子、横川史穂子、酒井禎子、丸山美香、樋口伸子、浅野暁俊			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	岡村 典子	同上	216	norio@niigata-cn.ac.jp
	横川史穂子	同上	204	yokokawa@niigata-cn.ac.jp
	酒井 禎子	新潟薬科大学看護学部		
	丸山 美香	新潟県立がんセンター新潟病院	がん看護専門看護師	
	樋口 伸子	新潟県立中央病院	がん看護専門看護師	
	浅野 暁俊	同上		
	【大学の科目区分】 専門分野			
	【D P 1】 ◎	【D P 2】 ○	【D P 3】 ○	【D P 4】 ○
				【D P 5】 ◎
				【D P 6】

到達目標	1. がんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩の包括的な知識について説明することができる。 2. エビデンスに基づいた適切なキュアとケアの統合を実施することができる。			
授業概要	がんの進展・治療に伴う苦痛症状のアセスメントとマネジメント技術を、薬物療法、理学療法的介入、心理的な支援、リソースの活用などを含めた包括的な視点から展開するとともに、End of Life Care や家族の悲嘆に対する効果的な援助を探究するために、国内外の文献講読とその批判的吟味や事例の検討を通して学ぶ。また、心理社会的ケアの一環としてのグループ療法や相談支援技術について学修する。そして、エビデンスに基づいた患者のアセスメントと臨床判断・実践能力、およびがん看護専門看護師としての能力（実践・相談・調整・倫理調整・教育）を養う。これらを学生主体のプレゼンテーションとディスカッションを中心に進める。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：演習 学修課題：緩和ケアにおけるがん看護専門看護師の活動：緩和ケアにおけるCNSの活動と役割 学修内容：・実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究 備考：石田		
	2	授業内容 授業形態：演習 学修課題：トータルペインの症状マネジメント技術の探究 (1) 身体症状を呈する患者の支援（がん性疼痛・呼吸困難・倦怠感） 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 備考：樋口 石田		
	3	授業内容 授業形態：演習 学修課題：トータルペインの症状マネジメント技術の探究 (2) うつ・せん妄を呈する患者のアセスメントと支援 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 備考：樋口 石田		
	4	授業内容 授業形態：演習 学修課題：トータルペインの症状マネジメント技術の探究 (3) スピリチュアル・ペインへの支援 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 備考：丸山 石田		
	5	授業内容 授業形態：演習 学修課題：End of Life Care と家族のグリーフワーク 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 備考：丸山 石田		
	6	授業内容 授業形態：演習		

	<p>学修課題：手術療法に伴う機能・器質的变化に対するセルフケア  学修内容：・リンパ浮腫、ボディイメージの変容への支援  備考：石田</p> <p>7 授業内容  授業形態：演習  学修課題：がん患者・家族への緩和ケア：  療養の場を移行する患者の意思決定支援と退院調整  学修内容：・がん看護相談の役割（コミュニケーションとカウンセリング技術）  備考：横川</p> <p>8 授業内容  授業形態：演習  学修課題：がん患者・家族へのケア：  終末期がん家族の悲嘆に対するケアの探究  学修内容：・がん看護相談の役割（コミュニケーションとカウンセリング技術）  備考：横川</p> <p>9 授業内容  授業形態：演習  学修課題：がん患者へのグループ療法（1）  学修内容：・グループ療法の理論と方法、ファシリテーターの役割  備考：横川</p> <p>10 授業内容  授業形態：演習  学修課題：がん患者へのグループ療法（2）  学修内容：・グループ療法の理論と方法、ファシリテーターの役割  備考：横川</p> <p>11 授業内容  授業形態：演習  学修課題：症状緩和技術演習（1）  学修内容：・呼吸法、筋弛緩法、マッサージなど、緩和ケアに必要な技術の修得  備考：岡村</p> <p>12 授業内容  授業形態：演習  学修課題：症状緩和技術演習（2）  学修内容：・呼吸法、筋弛緩法、マッサージなど、緩和ケアに必要な技術の修得  備考：岡村</p> <p>13-14 授業内容  授業形態：演習  学修課題：QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての倫理問題の解決法  学修内容：・事例検討  備考：石田</p> <p>15 授業内容  授業形態：演習  学修課題：QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての症状マネジメント  学修内容：・事例検討  備考：浅野</p> <p>16 授業内容  授業形態：演習  学修課題：QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての症状マネジメント  学修内容：・事例検討  備考：石田</p> <p>17 授業内容  授業形態：演習  学修課題：QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としてのスピリチュアルケアへの介入  学修内容：・事例検討  備考：石田</p> <p>18 授業内容  授業形態：演習  学修課題：QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての意思決定支援（療養の場など）  学修内容：・事例検討  備考：石田</p> <p>19-20 授業内容  授業形態：演習  学修課題：緩和ケアの課題と支援の探求  学修内容：・1回から18回の学びをふまえた、緩和ケアにおける「がん看護専門看護師に求められる役割と課題」についてのディスカッション  備考：石田</p>
事前・事後学習	事前学習：適宜指示する。 事後学習：適宜指示する。
評価方法、評価基準	到達目標に対して、レポート50%、プレゼンテーション30%、課題分析能力20%を総合的に判断する。
テキスト	教科書は指定しない。
参考図書・資料等	必要に応じて提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	事例検討等においては、提示された課題に基づき事前に資料を作成し、人数分の資料を配布する。
教員からのメッセージ	授業に関する質問等がある場合、メールアドレスにお問い合わせください。

オフィスアワー

石田が窓口となり対応する。事前にメールで連絡すること。